



新たな年へ

2016年も残すところあとわずかとなりました。お世話になった方々へのご挨拶やこれから迎える新年の準備にと、せわしない日々が過ぎていきますね。



大晦日に縁起を担いで食べるのが「年越しそば」。この風習が定着したのは、江戸時代からと言われています。その由来は、そばが細く長く伸びるため「健康長寿」「家運長命」を願うという説や、他の麺類と比べて切れやすいことから「今年一年の苦労や災厄を断ち切る」という説など、諸説あります。

年越しそばを食べるタイミングは、大晦日中ならいつでもかまいません。ただ、年が明けてから食べると「新年から運を断ち切る」ことになるので避けたほうが良いと言われています。

年末年始は、普段離れて暮らしている家族が集まる機会でもあります。家族で食卓を囲むひととき、この一年のいろいろな出来事を話しながら、無事に新年を迎えられることに感謝したいですね。

上司の家へごあいさつに伺うみどりちゃん。あなたは玄関先のマナーを知っていますか？

玄関の上がり方は？

- ①玄関では「おじゃまします」など簡単なあいさつをしましょう。
- ②正面を向いたまま靴を脱いで上がります。
- ③靴をそろえるため、先方にお尻を見せないように気をつけながら土間のほうへ向き直し、腰をかがめて膝をつきます。
- ④かかとを手前に靴をそろえ、玄関の隅のほうに置きます。
- ⑤向き直り、すすめられたらスリッパをはきます。

*複数で訪問するときには、最後に上がる人が全員分の靴をまとめて並べると、スムーズに美しく揃えることができます。



気をつけることは？

約束時間ちょうどか、数分遅れて到着することがお宅への訪問マナーです。素足のまま上がるのはマナー違反。必ず靴下やストッキングを着用しましょう。



玄関にも上座はあるの？

靴箱が収納目的のみで使われているときは、靴箱側が下座です。ただし、靴箱の上に写真や花を飾るなど、飾り棚としても使用しているときは、靴箱側は上座になります。



年末年始は他家へ訪問する機会も多くなりますね。
玄関での立ち居振る舞いも意識して、印象アップを目指しましょう♪

【和風月名 ～師走・睦月～】

12月は「^{しわす}師走」。年末の僧侶（師）が走り回るほど忙しい様子からという説が一般的です。
1月は「^{むつき}睦月」。お正月に親類が集まり、睦み合うことからと言われています。

